

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	長野県高齢者生活協同組合	代表者	市川英彦	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならない、しない」をスローガンに持つ「長野県高齢者生活協同組合」を母体に持ち「地域のより所」を目指して設立しました。通い・訪問・宿泊、それぞれのサービスを馴染みのスタッフが行うことで、利用者に安心感を持ってもらうことが出来ます。また、利用者の都合による通いから訪問、訪問から泊まり等、サービスの変更依頼にも柔軟に対応して家族の負担を軽減します。
事業所名	かがやきの家笹部	管理者	高瀬制一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	5人	人	1人	1人	1人	2人	人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認			- スタッフ個々の自己評価にばらつきがある。 - 前年度の事例がないため意見を出すのが難しい。	年度途中から入職したスタッフもあり、事業所の取り組みについての理解が不十分な面がある。次回につなげていく
B. 事業所のしつらえ・環境			- 概観だけ見た時に、どの様な施設なのか判りづらい。 - 玄関の鍵も掛かってなく、出入りがしやすい環境になっている。	地域の方が見て、介護保険の事業所と判るように概観の工夫をする。
C. 事業所と地域のかかわり			「かがやきの家笹部」という事業所のあることを、地域の中では知らない人が多い。 - 窓口の体制は、ケアマネを中心に取れている。	地域包括支援センター等とも連携をとり事業所から地域に向けてPR出来る取り組みを行っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み			地域では介護で困っている人もいるが、家の方から発信してくれない為、民生委員も介入しづらい。	登録者以外の人でも介護について気軽に相談に来れるような体制作りとPRをして行く。
E. 運営推進会議を活かした取組み			事業所は運営推進会議にて、地域からの情報を得る努力をしているが事例検討等はい行われていない。	運営推進会議で「かがやきの家笹部」で実際に関わっている利用者の事例検討を行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策			- 事業所は地域の防災訓練に参加出来ていない。 - 福祉避難所として検討して欲しい。	地域の防災訓練に参加していく。また、災害等の突発的な出来事への事業所としての対応について検討して行く。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 29 日 (14:00 ~ 16:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	高瀬、山村、大月、中田、中原、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		○			
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?		○			
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?		○			
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?		○			

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	新規の利用者は、利用開始前にケアマネが事前面談を行い利用者の身体状況・生活状況に関する情報を収集している。そこで得た情報をまとめ、スタッフに提供することで、サービス利用開始前に把握出来るように努めている。
②	他事業所関係者も含め、担当者会議を利用開始前に行い初回の目標設定を行っている。
③	利用者とスタッフの関係作りに配慮し、慣れてないうちは、訪問サービスを中心にし、慣れてきたら通いを増やしていく等、柔軟性のある対応に心がけている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	職員体制の関係から担当者会議に介護スタッフを参加させることが出来ていない事で、目標についての理解が弱く、それが目標を念頭に置いたケアを弱くさせている面がある。
②	特に 1 ヶ月に、新規の利用者が重なった場合にケアプランの読みあわせや目標の確認を全スタッフで行う事が出来ずに、個別介護計画の作成が遅れることで目標の共有が遅れてしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①	目標に沿ったケアについて論議する「担当者会議」に介護スタッフを参加させるようにし、目標についての介護スタッフの理解と共有を強める。また担当者会議に参加できるよう個別スタッフのスキルアップ計画を作成し進めていく。
②	個別介護計画の作成は、介護リーダーの業務としていたため、どうしても遅れてしまいがちになるため、スタッフの分担制として、目標の共有を速やかに行うようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 29 日 (14:00 ~ 16:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	高瀬、山村、大月、中田、中原、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？			○		
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？			○		
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？			○		
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？			○		

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	目標設定する際にケアマネは「～したい」を生活意向としてケアプランを作成し、実現するために、利用者本人、事業所が取り組むことを明記している。
②	取り組むことで利用者がどのような姿を実現できるのかを「長期目標」とし「長期目標」実現のために、どのような取り組みが必要かを「短期目標」として設定し、どのようなサービスが必要かを考え、介護リーダーは個別介護計画書を作成している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	スタッフの入れ替わりが激しいことと、介護経験の浅いスタッフも多いことから、目標を意識した関わりというより、業務的なケアになってしまい、本人の持っている力を引き出すようなケアが弱い。
②	利用者の担当制など、介護スタッフが主体的に関わる仕組みが作れてなかったために、実践内容の発信や評価の実施が弱い。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①	個別介護計画に基づいて、スタッフが利用者を分担して受け持ち、日々の関わりをすることで、スタッフ間のミーティング回数を増やす。
②	自立支援の観点からケアを実践できるスタッフを育成するため、年間計画を立てて外部研修に積極的に参加していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 29 日 (14:00 ~ 16:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	高瀬、山村、大月、中田、中原、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？			○		
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		○			
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？			○		
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		○			
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		○			

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用者の生活環境、生活暦等は、初回の事前面談で、本人・家族から聞き取りを行い、その情報は全スタッフが見て確認している。サービス開始後は、連絡ノートの活用や送迎及び訪問サービスに全スタッフが関わり家族との会話から聞き取りをしている。
②	身体介護の面では在宅支援を念頭におき、排泄介助の際、オムツ使用の利用者もトイレを使用していたなど、日常生活の中でのリハビリを取り入れるよう努力している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	職員の入れ替わりが激しいことや、募集してもなかなか人材が確保できないこと等から、スタッフの体系的な教育が出来ておらず、基礎的な介護技術をマスター出来ないスタッフもいる。
②	身体や生活状況に、変化が見られる利用者に関しては、家族・関係者を集め3ヶ月に1度程度で担当者会議を開催できているが、特変のない利用者について、話し合う機会がなかなか作れないでいる。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①	スタッフによる個別介護計画書の評価を、3ヶ月に1度はミーティングを開催し検討する中で、細かい変化の気付きも共有できるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 11 月 29 日 (14:00 ~ 16:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	高瀬、山村、大月、中田、中原、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		○			
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		○			
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?			○		
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?			○		

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① ケアマネはアセスメントの際、本人が今に至るまでの生活歴に関する情報を出来るだけ多く引き出すようにしている。毎月のモニタリング時にも、時間を取って、在宅での様子を詳しく聞いている。	
② サービスを導入したことにより、本人と家族や支えてきた人達との関係が途切れない様に、家族と相談している。地域での見守りが必要な利用者については、関係者と話し合う場を作っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 利用者の自宅が広範囲に渡る事等で、家族以外の本人の友人・知人や民生委員等、地域の人間関係と、事業所として関わりが出来ていない利用者も多く、在宅を支える資源として活用できていない。	
② 通院や買い物等、生活を支えるために必要なインフォーマルサービスも、その方の負担を考慮すると依頼しにくい事例も多く、地域の力を活用するには至っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
① 突発的な問題が発生した時に、初めて本人の地域との関わりを知ることがある。予め利用者それぞれの自宅を拠点とした本人を支えるための地域資源を把握できる様にしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 12 月 2 日 (13 : 00 ~ 16 : 00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	高瀬、山村、大月、中田、中原、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?			○		
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	○				
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		○			
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		○			

できている点

200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

① 事業所のサービスだけでは、自宅での生活が難しい利用者に関しては包括支援センター始め、民生委員、市役所の職員、スーパー、交番等の方々とも話し合い、多くの職種の人が関わる事で、利用者の生活を支える体制作りが出来るように心がけている。

② 家族の状況も考慮して負担がかかり過ぎないように、毎月サービス（訪問・通い・泊まり）の時間や内容の見直しを検討している。

③ 独居の利用者が通いサービスをキャンセルした場合、必要に応じて、訪問サービスに切り替えて対応するなど、柔軟なサービスの提供を行っている。

できていない点

200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

① 長時間の通い利用者、朝・昼・夜の訪問サービスに対応するため、スタッフによって勤務時間が違うので、日々の申し送りやスタッフノートでは、利用者の日々の変化について情報の共有が不十分と感じる。

② スタッフ全員のミーティングは、月に一度しか取れなかったため、時間等の制約から利用者全員の変化等を共有するには至ってない。特に勤務日の少ないパートスタッフで困難な状況がある。

次回までの具体的な改善計画

(200 字以内)

① 利用者の目に見えて表れる変化を捉えるだけでなく、内面の変化にも着目できるような視点を持ちながら利用者と関われる様にスタッフを育成していく。そのための外部研修等に計画を立ててスタッフを参加させていく

② 毎月の職員会議とは別に、利用者のカンファレンスのみを行うミーティングを開催し変化の共有を強めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 12 月 2 日 (13 : 00 ~ 16 : 00)
6. 連携・協働	メンバー	高瀬、山村、大月、中田、中原、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	○				
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		○			
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			○		
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			○		

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用者の受け入れ時や変化があった時など、ケアマネは、医療機関・訪問看護・福祉用具と連絡を取り担当者会議を開催して支援について確認している。
②	地域の会議としては、鎌田地区の地域ケア会議に参加している。
③	保育園児との交流や地域ボランティアによる演奏会など、行事計画を立てて実施している。又、回覧板を回して貰えることになり、地域の行事等も把握できる様になった。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	職員体制が十分でなかった面もあり、当事業所の地域でのイベントに利用者と一緒に参加する機会が少なかった。
②	訪問制限はしていないが、保育園児との交流以外、学校や地域内で活動しているグループ、近隣住民が事業所を訪れることは少ない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①	地区の行事は把握できるので、利用者や家族が参加できるイベントを見つけていくこと、そのための職員体制も整備していく。
②	学校や地域のボランティアをされている方々等へのPR、又、協同組合の特色を生かして、地域の組合員の方々に参加してもらう会合を計画する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 12 月 2 日 (13 : 00 ~ 16 : 00)
7. 運営	メンバー	高瀬、山村、大月、中田、中原、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？			○		
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		○			
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		○			
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？			○		

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	利用者の施設での様子や対応は、連絡帳に記入し、送迎時に直接家族と話すなど家族の意向を受け止めてケアに生かしている。意見・苦情については、全職員に伝え共有している。
②	毎月の職員会議では、職員から運営やケアについて意見を出し合い深めている。
③	運営推進会議を定期的に、開催して事業所の活動を報告し、地域の方々より意見をいただいている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	ケアマネは毎月のモニタリングで時間をとって家族と話し合っているが、今年度は、運営推進会議等への利用者や家族の参加が作れなかったことで、想いを共有するという点では弱さがあった。
②	当事業所が拠点となり、学習会や交流会など、地域の諸団体の方に参加してもらえる企画もスタッフ体制が、しっかり作れなかったこと等から出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①	運営推進会議への利用者及び家族の参加を促し、それぞれの介護と事業所に対する想いを聞いていくようにする。また、日ごろ、行き会えない家族に対しても無記名でのアンケート実施等、声を吸い上げる機会を作っていく。
②	介護についての相談会や利用者家族や地域の人に呼びかけを行い、認知症サポーター養成講座の当事業所での開催を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 12 月 2 日 (13 : 00 ~ 16 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	高瀬、山村、大月、中田、中原、三浦

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか			○		
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか				○	
③	地域連絡会に参加していますか			○		
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		○			

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	毎月の会議の中で、最低限必要な研修は行っている。
②	地域ケア会議に出席している。又、地域で見守りが必要な利用者について、地域の役員や交番の警察官にも呼びかけて会議を実施した。
③	介護事故やヒヤリ・ハットは些細な事例でも記録に残し、職員会議時に報告をし合い、全員で共有している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	退職者の発生やスタッフ個々の目標設定があいまいになってしまったことから、一般スタッフの外部研修派遣は実施できなかった。
②	月に一度の会議の中での研修だけでは、時間も限られ、スキルアップを図るのは困難だが、介護スタッフが集まって別に時間を取って研修を実施することが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
①	スタッフ個々の事業所内での役割や目標を確認し、それに沿った研修計画を年度当初に立て、資格取得や外部研修にも積極的に参加するようにしていく。
②	スタッフ間の申し送りやミーティングの際には、地域ケア会議の内容等も報告するとともに介護スタッフもケア会議や福祉ひろ場の活動等に参加出来るよう体制整備を図っていく。

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	○				
②	虐待は行われていない	○				
③	プライバシーが守られている		○			
④	必要な方に成年後見制度を活用している		○			
⑤	適正な個人情報の管理ができています	○				

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
① 夜間以外は、開錠している。一人ひとりの、見守りを強め、安全面に配慮しながら拘束をしないケアを追及しているが、緊急性があり、やむを得ない場合は、家族と話し合いの同意書を記入して貰っている。	
② ケアについて、毎月のミーティングで意見交換し、不適切なケアになっていないか共有している。送迎時の表情や入浴時等の身体観察等注意を払っている。	
③ 個人情報の扱いについて、内部で研修会を実施した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
① 高齢者虐待防止関連法等について学ぶ機会を作れてない。今年度は、体制問題から介護スタッフを外部研修に参加させる事が出来なかったことで、虐待や拘束の専門知識を身につける点では弱さがあり、身体拘束の事由について、スタッフの理解にはバラつきがある。	
② 書類管理が出来ていても、職員同士や利用者との会話の中で、うっかり個人情報を漏らしていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
① 全職員が、身体拘束や虐待の具体的な行為と弊害を理解するためには、広く外部研修に、職員を順次参加させていく。そのための計画を年度当初に立案する。	
② 事業所内でも、実際使用している身体拘束同意書や事例を用いて研修を実施する。	